

## 2022 年度第 1 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2022 年 4 月 13 日(水) 15 時 00 分～16 時 15 分

場所：WebTV 会議

出席者：(SPRUC 会長) 西堀英治, 朝倉清高, 足立伸一, 片山芳則, 久米卓志, 中川敦史, 西原克浩, 原田慈久, 藤原明比古, 船城健一, 水牧仁一郎, 浅田光則, 雨宮健太, 尾角英毅, 尾嶋正治, 川村朋晃, 坂本直紀, 田中義人, 長井康貴, 水木純一郎, 矢代航, 渡辺義夫, 綿貫徹 (以上、評議員 (幹事兼務含む))

米田仁紀, 谷山明, 鈴木基寛, 小林正起, 松田巖, 杉本邦久, 松下智裕, 南後恵理子, 久保田佳基, 永村直佳, 高原淳, 木村昭夫, 若林裕助, 三村功次郎, 藤原秀紀 (以上、幹事)

(SPRUC 事務局) 久保田康成, 岡田行彦

(以上、オブザーバー) 中村潤, 坂田修身, 大端通, 木村滋

1) 議事に先立って木村前会長並びに西堀新会長より挨拶があった。また、2022 年度評議員紹介 (資料 1) と各評議員からの挨拶があった。前回議事録 (資料 2) の確認があり、評議員等から質問等なく確定された。

### 報告事項

- 1) 西堀前行事幹事より資料 3 に基づいて、2021 年度行事实施概要の報告 (SPRUC 主催行事 3 件, 後援行事 1 件) が行われた。また、3 月に行われた SPRUC 第 4 回 BLs アップグレード検討ワークショップ開催について報告が行われた。
- 2) 三村前利用幹事より、資料 4 に基づき 2021 年度研究会活動状況として、開催された研究会の概要と第 5 期 34 研究会の活動状況の報告が行われた。
  - ・22 件の活動報告があった。新型コロナウイルス感染症の影響で現地開催は行われず、すべてオンラインで実施された。
  - ・次の 2 つの研究会 (放射光・中性子連携利用研究会, データ駆動科学研究会) が新たに加わった。
- 3) 三村前利用幹事より、資料 5 に基づいて 2021 年度動向調査報告書の報告が行われた。
  - ・32 の研究会から報告書の提出があり、研究開発ニーズや危機管理対策 等の 4 つの重点調査項目に対する意見や要望があがった。
- 4) 木村前会長より、資料 6 に基づいて理研・JASRI・SPRUC 三者会合の報告が行われた。
  - ・本会合は、施設代表者と SPRUC 代表者の話し合いの場であり、SPring-8 シンポジウム 2021 の基本方針や講演者の確認などが行われた。

### 審議事項

- 1) 西堀会長より、資料 7 に基づいて 2022 年度 SPRUC 活動方針について説明が行われた。また、資料 8 に基づき、SPRUC 行事の変遷と秋の学校における研究会によるグループ

講習の件数推移について説明が行われ、行事に関する業務が増えている状況について説明が行われた。このような状況に対応するため、SPRUC 組織に新たに行事委員会を新設する提案が行われ、承認された。

また、資料 8 に基づき、今年度の顧問会議名簿と代表機関・機関代表について以下の説明が行われ、承認された。

- ・顧問についての具体的な役割について今後相談していく。2022 年度機関代表について、昨年からの交代が 3 名あった。

- 2) 小林利用幹事より、資料 9 に基づいて第 6 期 SPRUC 研究会申請についての報告が行われ、承認された。

- ・継続は 34 件、1 件の新規申請（角度分解散乱分光研究会）があった。

また、今後の行事計画として以下の説明が行われ、承認された。

- ・第 22 回 SPring-8 夏の学校（資料 10）、SPRUC は後援として開催予定。

- ・SPring-8 シンポジウム 2022（資料 11）、本日の承認後に委員長などを決めていく。

- ・SPRUC 2022 young scientist award（資料 11）、被推薦者自身の自己アピールを必ず追加の上申請してもらう旨説明が行われた。

- ・第 6 回 SPring-8 秋の学校準備状況（資料 12）、SPRUC が共同主催として開催予定。昨年は新型コロナウイルスの影響で 12 月に延期されたが、今年は 9 月に開催が計画されている。

- 3) 久保田会計幹事より、資料 13 に基づいて 2021 年度決算報告について以下の説明が行われ、承認された。

- ・予算額の範囲内で支出が確定された。シンポジウムは、オンライン開催につき参加費収入はなく、JASRI からの活動分担金で補填が行われた。

- 4) 久保田会計幹事より、資料 14 に基づき 2022 年度の予算案について説明が行われ、承認された。

- ・昨年度の実績に基づいて予算案を編成した。昨年度、研究会はすべてオンラインで行われたため、旅費の申請はなかったが、今後対面開催が可能になれば、旅費等の支出が増えると予想される。

## 連絡事項

- 1) 鈴木庶務幹事より、資料 15 に基づいて今後の予定の説明と確認が行われた。

以上